

重症心身障害児者施設が完成

杏嶺会 民間運営は県内初

【一宮】社会福祉法人杏嶺会（一宮市富田流筋、上林公子理事長、電話0586・62・0002）が運営する、重症心身障害児者入所施設「一宮医療療育センター」（一宮市富田流筋）が完成、23、24の両日、現

地で内覧会を開いた。重症心身障害児者の入所施設は愛知県内に現在5カ所あるが、民間が運営する施設は県内初となる。

同センターは4階建てで、延べ床面積8179平方メートル。ベッド数は120床で、2016年1月12日か

らまず40床分の受け入れを開始する。

館内は、寝たままでも移動可能な特殊車いすをベッド横に置ける広さを確保した居室など、ゆとりを持たせた空間が特長だ。

開設準備室の北川博邦副

部長は「ゆったりとしたスペースで、民間ならではのスピーディーな対応を目標」と話している。

社会福祉法人杏嶺会は、一宮西病院などを運営する社会医療法人杏嶺会を母体に、14年7月に設立された。



完成した「一宮医療療育センター」



広さを確保した居室